若鷹のまちスポーツ・健康まちづくりプロジェクト

目標

計画期間：～令和10年3月31日

①観光入込客数の増加（現状：83.6万人→目標：令和10年3月までに108万人）
②運動、スポーツを行う市民の割合の増加（現状：36.1%→目標：令和10年3月までに50%）

ＰＲポイント

①プロ野球球団である「福岡ソフトバンクホークス」と密に連携したスポーツのまちづくり
ファーム球場・若鷹選手を活用した施策の推進による、スポーツへの意識の醸成。
②球団が持つブランド力・発信力を十分に生かしたシティプロモーション
常勝軍団が有する絶対的な知名度により、「筑後」の名が数多のメディアに露出。
③若鷹選手と市内児童のふれあいを通じての青少年健全育成
選手たちが市内小学校を訪問し、自作の人生グラフ説明や実技披露を通じて交流。

現状・課題

平成28年1月に福岡ソフトバンクホークスと締結した「地域包括連携協定」に基づき、多種多様な取り組みを展開する中で、青少年健全育成・地域活性化などに影響を及ぼしている。球団の絶対的な知名度を生かしたシティプロモーションなどを展開し、**観光入込客数の更なる増加**や**定住人口減少への歯止め**などに活かす必要がある。

総合的な取組内容

市と球団が双方の魅力を高め、その強みを活かしつつ多方面に渡り連携

スポーツ振興及び健康増進

市民と選手の交流会

現役選手参加の野球教室

青少年の教育及び育成

選手が学校訪問

選手とのふれあい

観光振興

年間約10万人の来場

地域活性化

招待券を配布

地元産米を提供

相互の情報発信

広報紙で情報提供

ポスターに選手を起用

包括連携協定の5つの柱

目指す姿

「若鷹のまち」として知名度が向上し、観光入込客にあふれ、市民満足度も高い、魅力的な市

継続的な取組を確保できる体制（図）

福岡ソフトバンクホークス㈱
（窓口：筑後事業推進部）
選手稼動、事業実施など総合的に対応

ひな丸
©SBH

協定締結、協力・連携・調整、定例的な協議

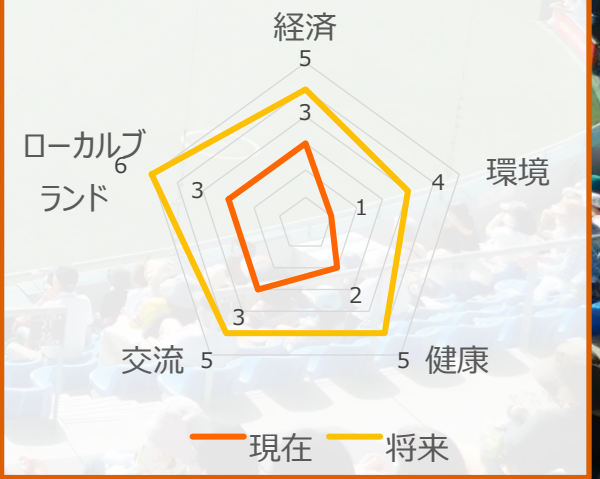
福岡県筑後市
（窓口：建設経済部商工観光課）
各種団体、庁内各部署と連携

はね丸
©筑後市

報告・提案　意見・協議

筑後市ファーム本拠地運営支援協議会
筑後市・議会・教育委員会・商工会議所・行政区・JA・JC・観光協会・軟式野球連盟・少年野球育成会・PTA・JR・スポーツ団体で構成

セルフチェックシート



問合せ先・電話番号

筑後市建設経済部商工観光課
TEL0942-65-7024

【フォローアップ欄】令和7年度以降における計画の進捗状況